

月	目標	災害想定状況	訓練実施時間	訓練の方法	配慮	避難場所
4	ベルの音を聞こう	火災 (調理室)	保育中 (10:15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各保育室で避難訓練についての話を聞く。</li> <li>ベルの音を聞き、保育者のところへ集まる。</li> <li>毎月一回避難訓練をすることを覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で避難経路、職員の役割分担を確認し合う。</li> <li>落ち着いた雰囲気なかで非常ベルの音を聞かせる。落ちついて話が聞けるようにする。</li> <li>初めて避難訓練を経験する子がいることを重視し、緊張や不安を与えないようにする。</li> <li>非常持出品の点検をする。</li> <li>避難訓練について分かりやすく子どもたちに伝える。</li> </ul>	各教室
5	合言葉を知ろう ・おさない ・かけない ・しゃべらない ・はなれない ・もどらない	火災 (調理室)	保育中 (10:00)	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災発生の放送を静かに聞く。</li> <li>保育者の指示に従い避難場所に避難する。</li> <li>おさない、かけない、しゃべらない、はなれない、もどらないの5つの約束がある事を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難がスムーズにできるように事前に職員の連携を図っておく。</li> <li>避難時、個々の子どもに避難場所や経路等を分かりやすく伝え、安全に避難できるように配慮する。</li> <li>各担任が幼児の人数、安全確認を確実に所長に報告する。</li> </ul>	1.2歳児 第一避難場所 3.4.5歳児 第二避難場所
6	どんな時でも慌てず避難できるようにしよう	火災 (ひよこ組 保育室)	午睡中 (14:45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>午睡中でも慌てずに、落ち着いて行動する。</li> <li>放送をよく聞いて、保育者の指示に従い避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねぼけたり驚いて泣き出だしたりする子どももいるので、慌てずに避難誘導する。</li> <li>寝ている子どもがいまいかを確認し、全員の安全を確認する。</li> <li>副所長が残留児を確認し、保育者と共に、避難場所にすばやく避難できているか確かめる。</li> <li>季節に合わせて衣服の持ち出し等の確認を行う。</li> </ul>	第二避難場所
7	消火器の役割について知ろう	火災 (隣接する中学校 消火訓練 通報訓練)	保育中 (15:30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の指示に従って安全な場所に避難する。</li> <li>消火器の設置場所や使い方を覚える。</li> <li>速やかに消防署へ通報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて避難できるように職員間の連携を図りながら、避難誘導する。</li> <li>残留児がいまいか確認をきちんとし、全員の安全を確かめる。</li> <li>職員全員が、事前に消火器の役割や設置場所、使い方を確認したうえで実践する。</li> <li>いつでも、誰でも速やかに通報できるように、日頃から通報の仕方を確認しておく。</li> </ul>	第二避難場所
8	台風・洪水の時の避難の仕方を知ろう	風水害 (台風)	保育中 (10:15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風や大雨による風水害時の避難方法について話を聞く。</li> <li>みんなで遊戯室に集まり雨が小雨状態になるのを待つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつ風水害が起きかわからないことを話し、どんな時でも落ち着いて避難できるように留意する。</li> <li>保育者は常に子どもの人数を確認し、安全に避難できるようにする。</li> <li>水遊びの危険さを一緒に話す恐怖心を抱かせない安心するような言葉かけ等の配慮も忘れないようにする。</li> </ul>	遊戯室
	放送をよく聞いて避難しよう	火災 (遊戯室)	保育中 (10:30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送をよく聞き、出火場所を理解して迅速に避難する。</li> <li>紙芝居など視聴覚教材を通して火災の怖さを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出火場所により安全な避難経路を選択し安全に避難する。</li> <li>出火場所により避難経路が変わることを知らせ、放送等の指示をしっかりと聞いておくことの重要性を伝える。</li> <li>分かりやすいように、年齢に合った視覚教材を用意する。</li> </ul>	第三避難場所
9	防災頭巾の大切さを知ろう	火災 (調理室)	登所中 (9:30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災頭巾、カラー帽子を被って避難する。</li> <li>放送により避難する。</li> <li>防災頭巾の大切さや正しい被り方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑を避け、その場に応じて避難させる。</li> <li>残留児がいまいか確認しながら全員の安全を確かめる。</li> <li>登所中の子どもは保護者と一緒に、速やかに避難できるように誘導する。</li> </ul>	第三避難場所
	地震や震災について知ろう	地震	保育中 (不意打ち)	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送を聞き、揺れがおさまるまで机の下やロッカーの中など安全な場所に避難する。</li> <li>各教室で地震時の避難訓練について話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不意打ちでも落ち着いて安全な場所に避難できるように避難できる場所を確認しておく。</li> <li>頭部を守るために防災頭巾を被ることを知らせる。</li> <li>各担任は子どもの人数、安全確認を行う。</li> </ul>	各クラス
10	どんな時でもすぐ避難しよう	火災 (調理室)	給食中 (11:40)	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食中でも放送をよく聞き避難する。</li> <li>配膳台や椅子にぶつかからないように避難する。</li> <li>非常時の心構えと約束を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>椅子を机の中に入れてたり障害物を撤去したりし、避難経路を確保する。</li> <li>慌てずに保育者が冷静な判断で速やかに避難誘導をする。</li> <li>人員の確認を迅速・確実にを行う。</li> </ul>	第三避難場所
11	シェイクアウト訓練について知ろう	地震後の火災	保育中 (不意打ち)	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送を聞き、机の下などの安全な場所に避難する。</li> <li>揺れがおさまったら防災頭巾をかぶり、保育者と園庭の中央に避難する。</li> <li>地震時の避難方法について話を聞く。</li> <li>[安全行動1-2-3]の意味を知る。</li> <li>地震での二次災害想定訓練をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災頭巾の正しい使い方を知らせる。(頭部を守ることを知る)</li> <li>地震の恐ろしさを知らせると共に、火災時は避難方法が違うことを知らせる。</li> <li>不意打ちでも慌てず保育者が冷静な判断で速やかに避難誘導する。</li> <li>慌てず「安全行動1-2-3」の行動をとるよう知らせていく。</li> <li>避難経路の確保のため戸や窓をすばやく開ける。</li> <li>各担任が子どもの人数、安全確認を確実にを行う。</li> </ul>	第四避難場所
12	煙の怖さを知り、避難の方法を考えよう	火災 (桃組保育室) 消火訓練 通報訓練	降所時	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常ベルにより避難する。</li> <li>煙を吸わないように手や袖口で口や鼻を覆う。</li> <li>消火器の設置場所や使い方を改めて確認する。</li> <li>速やかに消防署へ通報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慌てず騒いだりしないように避難できるようにする。</li> <li>煙が入らないよう手や袖口で口や鼻を覆いながら避難する事を知らせる。</li> <li>職員や保護者も、消火器の設置場所や使い方を練習しておく。</li> <li>降所した子どもを確認し、人数確認をしながら保護者がまだの子どもは保育者の指示に従い避難誘導する。</li> </ul>	第三避難場所
1	火遊びの怖さを知ろう	火災 (青組保育室)	保育中	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災頭巾を被って避難する。</li> <li>火遊びの怖さを知り、暖房器具などに触らないようにすることを約束する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>押ししたり転んだりしないように、慌てず静かに避難誘導を行う。</li> <li>火遊びの怖さを知らせ、絶対にしないように約束する。</li> <li>いつでも誰でも速やかに通報できるように、日頃から通報の仕方を把握しておく。</li> </ul>	第三避難場所
2	先生の話をよく聞いて避難しよう	火災 (赤組保育室)	保育中 (不意打ち)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不意打ち訓練で近くにいる保育者に従って避難する。</li> <li>放送の指示に従って行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不意の火災に対して慌てず避難誘導する。</li> <li>どこにいても放送をよく聞き、近くにいる保育者の所に集まり安全に避難できるようにする。</li> </ul>	第三避難場所
3	どのようにすれば自分の命を守ることができるか考えよう	火災発生 放送設備故障 (事務所)	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な避難指示の方法がある事を知る。</li> <li>1年間の避難訓練を振り返って、4つの約束をもう一度確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな避難訓練を通して、子どもたちがすばやく避難できるように、また保育者が臨機応変に対応できるように再確認する。</li> <li>火災に際して早期発見、通報、消火にあたることができるように職員間で役割分担をし、迅速に行動する。</li> </ul>	第四避難場所